

「ちりゅっぴ」で ゆるキャラ卒論

愛知教育大(刈谷市)の地理学専攻4年、深谷侑加さん(22)＝大府市共和町＝が、卒業論文に知立市のマスコットキャラクター「ちりゅっぴ」を取り上げ、ゆるキャラを活用した地域の認知度向上や好感度上昇の効果をまとめた。23日に卒業式を迎える深谷さんは「好きなゆるキャラで卒論

愛教大 深谷さん

が書け、大学時代の宝物になった」と笑顔を見せる。

論文はゆるキャラ登場や定義、全国的ブームを解説した後、県内市町村のゆるキャラの誕生年や特徴、ちりゅっぴが作られた経過と活用方法を紹介している。

さらに、地域ブランド化へちりゅっぴが果たした貢献度を検証するため、ちりゅっぴが2016年に参加

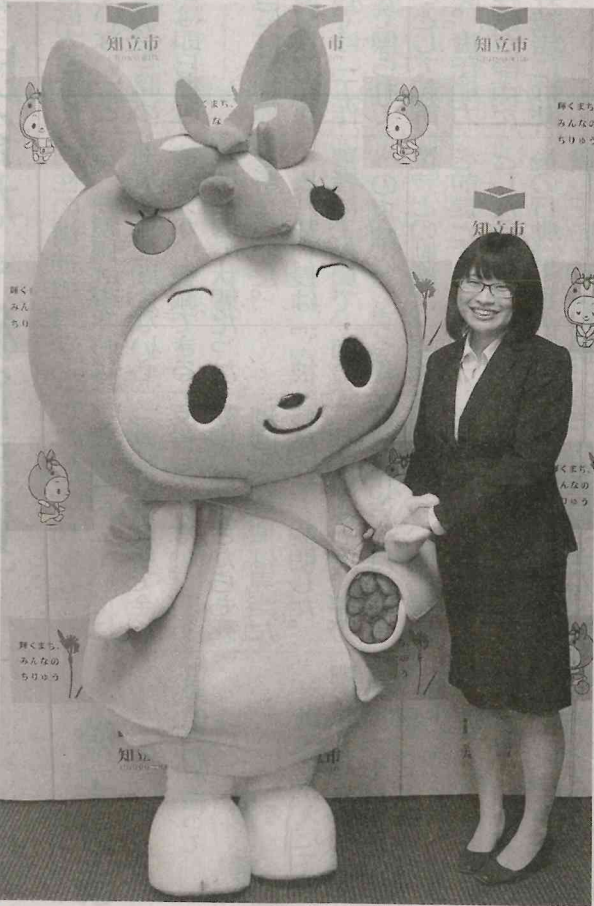
まちの好感度につながると分析

「独自アンケートも 宝物になった」

したゆるキャラの全国イベント「ゆるキャラグランプリ」(松山市)と「世界キャラクターさみっと」(埼玉)

玉原(生市)の会場で来場者にアンケートを行った。計156人にちりゅっぴや知立市などについて質問し、回答を分析した。その結果、ちりゅっぴへの興味の度合いが深いファンほど、知立市への認知度や好感度も高いことが判明。ゆるキャラは地域のブランド化に一定の効果を果たせると結

深谷さんは「ゆるキャラは地域活性化の手段であり、ゆるキャラの人气が地域のブランド化につながっていかねば、目的を果たせとはいえない」と話している。【安間教雄】



卒論をまとめた深谷侑加さんと「ちりゅっぴ」＝知立市提供